

地域共創研究センター年報「地域共創研究」について

公募原稿投稿規定

1. 投稿資格者は愛媛大学教職員ならびに学生（大学院生を含む）、およびセンターが投稿を認めた者とする。
2. 論文の投稿締切は8月末日の年1回とし、年報の刊行時期は原則として毎年9月末とする。
3. 原稿枚数は、図表を含めて和文の場合で400字詰原稿用紙換算で約80枚以内、英文の場合で約8,000words以内とする。図表は原則として刷り上がり誌面の約2割以内とする。
4. 原稿の複数号にわたる分割掲載は、原則として認めない。
5. 投稿された原稿は、その掲載の適否を、センター内に設ける年報編集委員会において審査し、審査結果を投稿者に通知する。なお、その際に原稿の加筆、短縮等を求めることがある。
6. 投稿された原稿は、掲載に際し、内容に応じて「論文」「実践報告」「書評」等、いくつかのジャンルに区分する。
7. 原稿料は、支払わない。
8. 執筆方法は、別途定める「原稿作成要領」にしたがうこととする。
9. センター年報は、愛媛大学図書館リポジトリ運用指針に基づき、インターネットにより無償で学内外へ公開する。このため、投稿する場合は、公開に同意したものとする。

原稿作成要領

1. 本誌はA4版、50字×46行1段とする。原稿は、原則として図表を本文中に組み入れた完成原稿を作成する。ただし、図表をうまくレイアウトできないなどの場合は、図表を別とし、提出時に事務局に確認する。
2. 原稿は、Microsoft Word形式もしくはPDF形式で作成し、電子メール等で記録媒体を提出する。
3. 句読点は「,」「。」とする。
4. 原稿には本文の前に要旨（日本語又は英語）を載せる。要旨には、研究目的と結論を必ず記述する（必要に応じ研究の方法論も含む）。長さは200～300語程度で、途中で改行をしない。本文と切り離してそれだけを読んでも論文の内容がある程度把握できるようにすること（”～については、本文において述べる”などの記述を避ける）。また、本文中の図・表・文献は引用しない。
5. 注記は、（1）（2）…の通し番号を付して、論稿末に一括しておく。
6. 文献に関する情報は、初出時に文献番号（[1],[2]・・・）を付加し、再出以降は、読者にわかりやすいように書名・論文名を簡略化して表記する。前掲書、前掲論文、ibid.

等は原則として使用しない。文献を主語や目的語などに用いる場合、「文献[1]では、…」などのようにして、番号のみの表現を避ける。

7. 氏名と論題の英文表記を原稿に添付する。
8. その他については、別紙（論文テンプレート）、および本誌第1号に倣う。

(2021年3月8日改定)